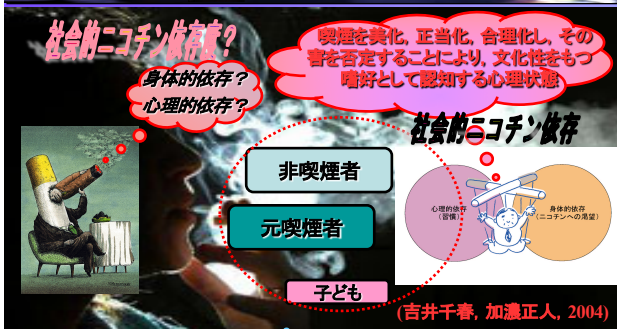


小学校5, 6年生児童の加熱式タバコを含めた喫煙, 受動喫煙に対する意識と社会的ニコチン依存度

稲垣幸司^{1,2,14,15}, 増田麻里¹, 高阪利美¹, 家田重晴^{3,15}, 磯村 毅^{4,14,15}, 魚住君枝子^{5,15}, 大澤 功^{9,15}, 坂本龍雄^{7,15}, 谷口千枝^{8,14,15}, 平山ゆかり^{9,15}, 大塚貴史^{10,15}, 北田雅子^{11,14}, 吉井千春^{12,14}, 加瀬正人^{13,14}

¹愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科, ²同歯学部歯周病診療, ³中京大学スポーツ科学部, ⁴予防医療研究所, ⁵泰山クリニック, ⁶愛知学院大学心身科学部健康科学科, ⁷中京大学教授スポーツ科学部, ⁸愛知医科大学看護学部, ⁹名城病院内科(兼煙外来), ¹⁰岐阜聖徳学園大学教育学部, ¹¹札幌学院大学人文学部こども発達学科, ¹²愛知医科大学若松病院呼吸器内科, ¹³新中川病院内科神経科, ¹⁴禁煙心理研究, ¹⁵子どもまきばから守る会・愛知

第28回日本禁煙推進医師歯科医師連盟学会・学術総会 (2019年2月23, 24日, 千葉)



学校敷地内禁煙の現状

愛知県: 公立学校 (幼稚園～高等学校) 敷地内禁煙予定 (2019年7月から)

目的

小学生児童の喫煙や受動喫煙の現状とその認識を把握する一助として, 小学5, 6年生児童に対して, 加瀬式社会的ニコチン依存度調査票小学校高学年標準版 (Kano Test for Social Nicotine Dependence in youth, KTSND-youth) を含めた無記名自記式質問票調査を実施した。さらに, 脱タバコ講義前後で, KTSND-youthの変化を比較した。

対象

敷地内禁煙 (名古屋市: 2004年～)

名古屋市内6校 小学5, 6年生児童

496名 (2017年2月～2018年2月)

5年生117名 (24%), 6年生379名 (76%)

男児227名 (46%), 女児269名 (54%)

調査事項

- ・喫煙歴
 - ・家族・同居者の喫煙 (受動喫煙)
 - ・喫煙願望, 将来の喫煙予測
 - ・喫煙や受動喫煙の影響に関する認知
 - ・歯周組織に対する健康障害
 - ・非加熱式加熱式タバコ (加熱式タバコ) に対する認識
 - ・加瀬式社会的ニコチン依存度小学校高学年版
- 講義前・後 (KTSND-youth, 10問30点満点, 成人では, 9点以下が標準範囲)

統計解析は, 性別, 学年, 歯周病, 加熱式タバコに対する認識度の差異による比較にはMann-WhitneyのU検定, 講義前後のKTSND-youthの比較には対応のあるWilcoxon の符号付き順位検定を用いた (SPSS 22.0, IBM Corp, Armonk, NY, USA)。いずれも有意水準5%未満を有意差ありと判定した。

なお, 本調査は, 愛知学院大学短期大学部倫理委員会 (承認番号18-0019) の承認を得て行った。

結果

講義前後における将来の喫煙予測

【将来タバコを吸っていると思うか】 ■: そう思う ■: 思わない

講義前

講義後

【将来少なくとも一度くらいタバコを吸うと思う】

講義前

講義後

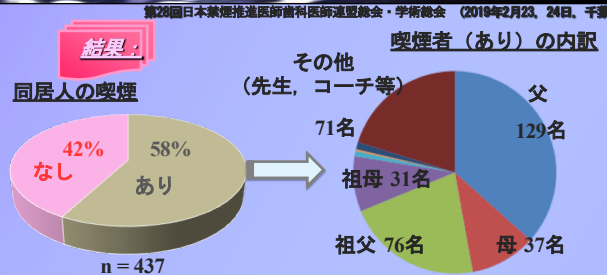
まとめ

本研究から, 小学5, 6年生児童のおよそ5割が家庭内での受動喫煙の影響を受け, 喫煙の歯周病への悪影響や加熱式タバコに対する正しい認識は, 他の影響に比べて, 認知度が低い事が判明した。さらに, 両者に対して, 正しい認識をもった児童の方が, 低いKTSND-youthを示していたことから, 歯周病への悪影響や加熱式タバコに対する正しい知識も含めた講義を行う必要性が示唆された。また, 今後, 児童のみならず, 家族も含めた包括的, 継続的な脱タバコ教育が必要であると思われた。

なお, 本研究の一部は, 2018年度日本禁煙学会調査研究事業の助成を受けて行った。

【利益相反開示】

演題発表に関連し, 開示すべき利益相反関係にある企業などはない。



喫煙願望のある児童: 10名 (2%)

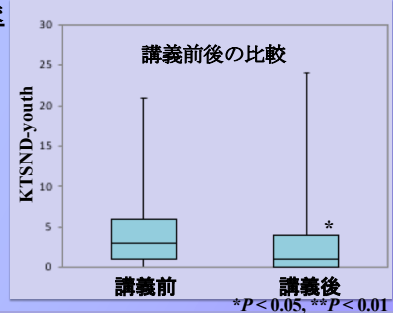
喫煙経験のある児童: 1名 (0.2%)

小学4年生 KTSND-youth: 16

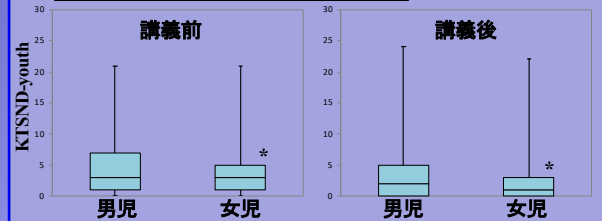
喫煙による影響の認知

喫煙による健康障害	491名 (99%)	4名 (1%)
受動喫煙による健康障害	471名 (95%)	24名 (5%)
ニコチン依存症	467名 (94%)	29名 (4%)
勉強や運動への影響	427名 (86%)	69名 (14%)
歯周組織への影響	379名 (76%)	117名 (24%)
加熱式タバコによる影響	278名 (56%)	217名 (44%)
	はい	いいえ

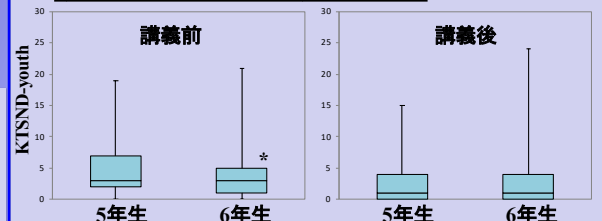
KTSND-youthの比較



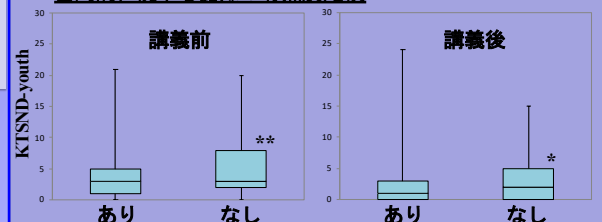
男女の比較 (男児227名, 女児269名)



5, 6年生の比較 (5年生117名, 6年生379名)



歯周病に関する認知の有無比較



加熱式タバコに関する認知の有無比較

